



# 3Rの国際的な推進のための取組

---

平成21年11月20日  
外務省



# 我が国外交上の環境問題の位置づけ

---

- 我が国外交重要課題の一つと位置づけ。
  - 地球温暖化、生物多様性などの環境外交で主体的役割を果たす。(09年9月9日、連立政権樹立に当たっての政策合意)
- 主要国との二国間、多国間会談等の機会に気候変動問題を始めとする環境分野での協力等につき意見交換。
- 国際的なルール・枠組みづくりやODAを通じた開発途上国支援により地球環境問題の解決に努力。



# 首脳会談等における3Rの扱い (08年11月以降)

---

- **第2回日中ハイレベル経済対話**(09年6月7日、於:東京)  
循環型社会の構築と廃棄物対策などに関し、更に協力を深化させることを確認。
- **第2回日中韓サミット**(09年10月10日、於:北京)  
「持続可能な開発に関する共同声明」を採択。同共同声明の中で、3Rを始め、環境分野における協力を強化することについて確認。

## 【共同声明関連部分】

- ・第11回三か国環境大臣会合において指定した10の環境優先分野、たとえば生物多様性保護や環境意識等をエンドースし、2010年の第12回三か国環境大臣会合で採択される共同行動計画の策定を奨励し、協力を円滑にする実際的な措置をとり、持続可能な環境管理を一層進める。
- ・リデュース、リユース、リサイクルの精神の下、日中韓循環経済モデル拠点の設立を探求し、資源節約、環境配慮型の産業構造、成長パターン、消費様式を推進するために、共同で努力する。



## 国際協力

---

- (独)国際協力機構(JICA)において技術協力分野を中心にプロジェクトを実施。
- 専門家派遣、国別研修の実施、機材供与などを通じて、ゴミの分別収集の実施、ゴミ収集システムの改善、住民意識向上、政府の行動計画策定を進め、廃棄物管理の改善、循環型社会の形成を目指す。
  - 平成20年度: フィリピン、ベトナム、中国、フィジー、メキシコ
  - 平成21年度: フィリピン、ベトナム、中国、フィジー、メキシコ、キューバ、インドネシア(予定)

## 国際協力 (JICAのプロジェクト)

- 「ハノイ市3Rイニシアティブ活性化支援プロジェクト」  
(06年11月～09年11月)

### 活動(短期専門家派遣及び機材供与等)

生ゴミ分別収集を基調とするパイロットプロジェクトの実施及びハノイ市全域拡大のための行動計画の作成  
もったいない精神に基づく3Rのための環境教育の実施  
分別収集と環境教育の普及  
分別収集を基本とする都市ゴミ管理改善のための戦略ペーパーの開発

### プロジェクト実施による成果

ハノイ市の約3万3千世帯で分別収集を実施する等、分別収集が定着。  
廃棄物管理に関する法令が改正され、各ステークホルダーの責任が明確化。  
アクション・プラン実施により、2015年までに廃棄物量が約30から40%削減される見込み。



写真提供: JICA